

Risk Flash No.115

(Vol.4 No.5)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
 発行責任者：リスク研究センター長 久保英也
 〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1 TEL:0749-27-1404
 FAX:0749-27-1189 e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp
 Web page: <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2>

- 歴史の視点：高等商業学校の文化研究・・・P.1
- 教員紹介：藤田真樹・・・・・・・・・・P.2
- 滋賀大学経済学部開学90周年、リスク研究センター発足10周年記念シンポジウムのご案内

歴史の視点

高等商業学校の文化研究

あべやすなり
社会システム学科教授 阿部安成

今年、滋賀大学経済学部は創立90周年を迎えます。こうした何周年という回顧も1つの過去のふり返り方となります。2013年から90年を引くと1923年となり、わたしたちの学部の始まりが20世紀初頭におかれていることがわかります。わたしたちの経済学部は、新制大学に学部が設置されたときではなく、その母体となった彦根高等商業学校の開学を自分たちの起源としてきたのです。彦根高等商業学校から滋賀大学経済学部までの歴史はこれまでに、滋賀大学創立40周年と50周年を記念して、それぞれのときに大学史という史誌にまとめられました(1989年と1999年に刊行)。ただしこの2著の大学史において、経済学部の起源とされてきた彦根高等商業学校については、大学の前史ていどにしかとりあげられませんでした。

わたしたちの高等商業学校についての共同研究は、回顧という過去のとらえ方や、前史という過去への位置づけではなく、20世紀前期の高等教育機関としての高等商業学校を1つのまとまりがある知の系と考えるところにその意義があります。こうした共同研究の成果には、小樽商科大学がその創立100周年を記念して刊行した『小樽商科大学百年史』学科史・資料編(小樽商科大学百年史編纂室編集、小樽商科大学出版会発行、2011年)への寄稿、一橋大学附属図書館が主催した2012年度企画展示の講演会(11月2日)での講話(阿部安成「蝶番としての海外修学旅行—20世紀前期帝国日本と高等商業学校研究の展望」『一橋大学附属図書館研究開発室年報』創刊号、2013年4月)、長崎大学経済学部東南アジア研究所と阿部科研グループ等との共催「高商 studies ワークショップ」の実施(2012年12月14日、15日。<http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/introduction/lecture/1121214.html>)などがあります。本学部の Working Paper Series をとおしても、高等商業学校をめぐる調査や研究の成果を発信しています(<http://mokuroku.biwako.shiga-u.ac.jp/WP/index.htm>)。

わたしたちの彦根キャンパスには、彦根高等商業学校の時代に建てられた講堂と陵水会館があります。高等商業学校の講堂はただ1つ彦根にだけ残っています。この経済学部にはまた、高等商業学校を主題とした論文を書く教員が3名もいます。こうしたスタッフの陣容は、ほかの高等商業学校系の国立大学法人経済学部ではみられません。

彦根高等商業学校開学から90年というこの2013年に、高等商業学校という歴史のとらえ方について、さまざまな、たくさんの発信をしてゆく予定です。

教員紹介 「藤田真樹」

4月から滋賀大学経済学部特任講師として着任いたしました、藤田真樹と申します。石川県出身で学部時代を東京で、大学院は九州で過ごしました。専門はMBO



(Management-Buy-Out)を中心とする企業結合法ですが、金沢大学医薬保健学研究域医学系において、インドを中心とするアジアの国々で行われている商業的代理出産のもたらす法的問題についても研究協力しています。滋賀大学では、前期は会社法Iと法システム論特殊講義(医療と法)を担当させて頂いております。

過去1年の主な研究業績としましては、以下のものがあります。

—著 書—

『アクチュアル企業法』(法律文化社、平成24年12月)

従来の商事法分野を企業法として捉え直し、現実の法実務と法理論を関連づけて理解。商事法体系のありかたをも視野に入れた入門書。

(西山芳喜編：西山芳喜、藤田真樹、山口幸代、川原勝美、泉日出男、小西もみ恵、井上能孝、肥塚肇雄、城戸義和、内海淳一、若色敦子、前越俊之、遠山聡、上田純子、一ノ澤直人、松本博、清水円香、吉村信明、石田眞、徳本譲 筆)

—Working Paper 等—

【翻訳】

『インドとタイにおける生殖技術と法整備の現状』
「生殖補助医療(規制)法案(The Assisted Reproductive Technology (Regulation) Bill, 2008 → 2010)」(生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会、平成24年6月改定)(藤田真樹 牧由佳、日比野由利 共訳)

—学 会 報 告—

【単独報告】

1. 「インドにおける商業的代理出産をめぐる法的・倫理的問題」グローバル化による生殖補助技術の市場化と生殖ツーリズム：倫理的・法的・社会的問題第10回公開セミナー(金沢大学、平成24年11月)

2. 「組織再編制度を巡る一考察—善管注意義務・忠実義務をめぐる議論を中心として—」九州大学産業法研究会第625回例会(西南学院大学、平成25年1月)

【筆頭報告】

1. 「インドにおける商業的代理出産をめぐる法的問題」第10回日本予防医学会(広島大学、平成24年11月)

2. 「生殖ツーリズムを巡る法的問題」第83回日本衛生学会ポスターセッション(金沢大学、平成25年3月)

今年は、論稿の執筆を中心に研究活動がんばって参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

ふじたまさき
経済学部特任講師 藤田真樹

競争と協調で拓くアジアの未来

成長地域であるアジアにおける国際競争は激しさを増しています。日本の絶対的技術優位がなくなる中で、韓国、台湾などの輸出企業との競争力に差はなく、為替やマーケティングの差で勝敗が決まる場面も多くなっています。一方で、領土問題に根差す中国、韓国との関係悪化が各国の経済や国民感情に暗い影を落としています。

その中で、中国湖南省との交流を守り続ける滋賀県、中国の暴動で破壊された店舗を再興し更に新規出店まで行う平和堂、アジアのハブ機能担う関西を標榜する関西広域連合、元大統領の竹島上陸直後に同島を管轄とする韓国慶尚北道の副知事を滋賀県に招聘する滋賀大学など、この時代にアジアの協調を実践する動きもみられます。

滋賀大学経済学部の開学 90 周年に際し、協調を主導する「企業、行政、大学」が集まり、今後のアジアにおける競争と協調の在り方を改めて考えてみたいと思います。

ご挨拶 嘉田由紀子滋賀県知事

基調講演 佐和隆光滋賀大学学長

シンポジスト

嘉田由紀子 滋賀県知事

古川幸一 平和堂専務取締役（中国室長）

中塚則男 関西広域連合事務局長

稲野和利 野村アセットマネジメント取締役会議長（6月1日より日本証券業協会会長）

持木浩徳 近畿経済産業局通商部長

佐和隆光 滋賀大学学長

司会、モデレーター

久保英也 滋賀大学リスク研究センター長

日時

平成 25 年 5 月 31 日(金)

13:00～16:40

場所

滋賀大学 講堂

参加費:無料
定員:300名

主催： 滋賀大学経済学部

後援： 滋賀県、関西広域連合、駐大阪大韓民国総領事館、大慶圏広域経済発展委員会（韓国広域連合）、
中国東北财经大学、韓国啓明大学校、ベトナムハノイ国民経済大学、滋賀大学経済学部駿水会

お申込み

※当日の直接参加も可能ですが、事前登録いただければ幸いです。

お名前、所属、住所、電話番号、E-mail アドレスをご記入の上 E-mail にて、もしくは滋賀大学(リスク研究センター)のホームページからお申し込みください。

◆E-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp 滋賀大学経済学部附属リスク研究センター

◆Homepage: <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/5/10:2>(お申し込み用画面)

会場へのアクセス

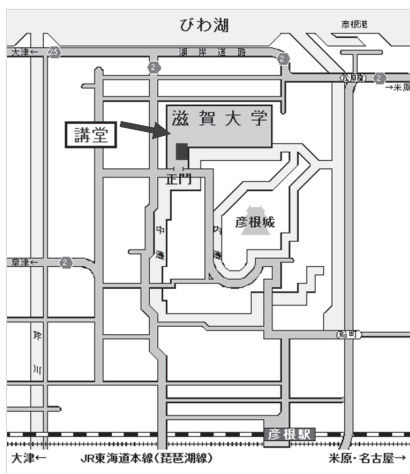
開催場所: 滋賀大学彦根キャンパス 講堂(彦根市馬場1丁目1-1)

◆JR 琵琶湖線(JR 東海道本線)

「彦根」駅よりバス約9分、タクシー約5分、または徒歩約25分

「米原」駅よりタクシー約12分

◆名神高速彦根ICよりお車で約10分



お問い合わせ

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189

「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

【サービスの提供】

1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

【サービスの変更・中止・登録削除】

1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量が一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

【個人情報等】

1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

【免責事項】

1. 配信メールが回線上的の問題（メールの遅延、消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

【著作権】

1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変して blog 等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。

— *尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。

( <http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/3:12>)

*当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター

**編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、
金秉基、久保英也、柴田淳郎、
得田雅章、宮西賢次、山田和代**

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局

(Office Hours:月一金 10:00-17:00)

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1

TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189

e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp